

## 10 月 16 日：VN 指数は下落圏で推移 (VN-Index -0.12%)

- 2024 年第 3 四半期の業績発表が本格化するのを前に、本日の VN 指数は前日終値付近で寄り付き様子見の展開となった。
- 小売、食品飲料セクターの上昇がきっかけとなってどうにか上昇を記録したところで前引けとなった。
- 後場が始まると下落幅はますます広がり、大引け付近で反発の兆しが見られたものの、下落圏で取引を終えた。
- 石油ガスセクターが大幅に下落し、複数のセクターの上昇も前日終値を上回るほどの寄与には至らなかった。
- 153 銘柄が上昇、209 銘柄が下落、70 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 20.1%低下し 13.3 兆ドンとなった。

## VN30 指数は市場全体の重しに (VN-30 -0.15%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、9 銘柄が上昇、18 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずだった。
- 特に SSB (-4.02%)、PLX (-3.60%) の下落が大きかった。
- 一方で主要な上昇銘柄は MWG (+1.71%) and SAB (+1.23%)であった。

## セクター・個別株の動き

- EIB (+1.37%)は先日から流れている倒産の噂について反論した。同行はその噂の証拠となった文書について、印鑑と署名がされておらず、その出どころなどに疑問が残ると主張した。
- DIG (-1.72%)の首脳陣は 10 月の会議の後に、第 4 四半期に DIC 社はプロジェクトの法的手続きの完了、自己資本を増額、計画通りのプロジェクトの譲渡、販売計画の策定、プロジェクトの債権回収の優先に注力すると明らかにした。
- 外国人投資家は 3,110 億ドンの売り越しとなった。引き続き FPT (-0.44%) が中心となった。一方、STB (-0.30%)が少額であったが買い越された。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。